

田原市立赤羽根中学校で防災講座を行いました

令和8年10月2日（金）、田原市立赤羽根中学校で1年生64名に防災講座を行いました。田原市内での講座の実施は今回が初めてです。

講座では、田原市でも被害のあった伊勢湾台風、今年で発生から50年の節目を迎えた9.12豪雨災害、東海豪雨などを学習しました。VRによる浸水疑似体験はとても盛り上がり、「怖い」との声も聞かれたほか、体験後には「どうやって避難するのが正解なのか」などの質問がありました。

また、伊勢湾台風A1語り部との対話体験や水防災A1カードクイズも行いました。A1語り部には「なにを食べていましたか」「学校はどうしていましたか」などの質問を通して伊勢湾台風への理解を深め、カードクイズでは、ハザードマップや避難行動について友人同士話し合いながら回答していました。

生徒からは、「ハザードマップを確認して、テレビなどで情報が出たら早く避難できるようにしたい」などの感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子はNHK、中日新聞に取材頂きました。

